

実習 目標

地域医療は生活に密着する
だから多職種との連携が不可欠

学習者は、地域医療トレーニングキャンプを通して、医療人類学の基本概念である「文化」、個人と個人、個人と社会、個人と自然をつなぐものを体感・聴取し、地域住民の患者としての側面と、生活者としての側面を知り、対象者を全人的に見ることができるようになることを目的とする。

対象

地域医療に興味のある医学科生、保健学科生、歯学科生、看護学科生、薬学科生

対象地域・宿泊施設

対象地域：垂水市

宿泊施設：鹿児島大学農学部附属 高隈演習林

実習期間

令和8年2月7日(土)

協力

鹿児島大学農学部附属 高隈演習林

大野地区、垂桜地区

指導教員

大脇 哲洋	(地域医療学分野／離島へき地医療人育成センター	教授／センター長)
網谷 真理恵	(地域医療学分野／離島へき地医療人育成センター	准教授)
指宿 りえ	(地域医療学分野／離島へき地医療人育成センター	助教)
水間 喜美子	(地域医療学分野／離島へき地医療人育成センター	特任助教)

参加学生

医学科学生5名

実習内容

◎現地フィールドワーク

①林業体験

高隈演習林にて、林業体験を行う。

②交流食事会

地域の方々と親睦を深める。

③インタビュー(歓談)、レクリエーション

大野校区、垂桜地区の住民の方々の生の声をインタビュー形式で聞き取る。

④レクリエーション

災害医療に関するカードゲームを行う。

◎報告会

①地域診断で、住民の方からお伺いした話を通して、

どのようなことを感じたかを活動中の写真と模造紙1枚にまとめ15分程度で報告する。

実習の流れ

日付	行程		内容
2/7 (土)	8:50	鴨池港 現地集合	
	9:20発 (40分)	フェリー	趣旨説明
	10:00~10:30	移動(垂水港→高隈演習林)	
	10:30~11:30	現地フィールドワーク	演習林 林業見学・体験
	11:30~	懇親会準備	わかば様、配膳手伝い
	12:00~14:30 (2時間30分)	懇親会(1時間) 自己紹介・地域紹介・インタビュー	① 食事会 ② 歓談(薬膳茶・薬膳珈琲) ③ レクリエーション 災害栄養に関するカードゲーム など
	14:30~15:30 (1時間)	グループディスカッション 報告会・御礼	今回体験したことを班ごとに報告 2グループ(15分×2 30分) 10分 総評:大脇先生 コメント:牧野先生
	15:30~16:00	移動(高隈演習林→垂水港)	
	16:50発 (40分)	フェリー	
	17:30	鴨池港到着・現地解散	

林業体験の様子



交流食事会の様子



レクリエーションの様子



報告会の様子

